



学校支援

1月15日(木)、3年生の社会科の時間に、地域の偉人「照山修理工」を学ぶ

修理のお話会が行われました。話し手は、照山修理工について詳しい伊藤智毅さん。

今から386年前に金沢村の庄屋であった修理が貧しい村人のために検地をやり直してほしいと水戸藩に直訴したこと、修理と弟の主税、長男新次郎が処刑、その後、検地はやり直され村人を助けたという話。伊藤さんは話の最後に、「修理のように自分の周りにいるいろんな人のことも考え、人にやさしく行動する人になつてほしい」と伝えました。



修理の教えは自分の周りの人々にやさしく

地域の偉人を知る貴重な時間となりました。

前回作ったペットボトルのマラカスで親子で歌とダンスを披露。元気いっぱいの姿がとても印象的でした。



内最後に全員でおやつを食べました。

生地は思った以上に固く、伸びるのに大人も子どもも苦戦しながら、一生懸命打っていました。「家で食べるのが楽しみ!」と声が上がり、打ったそばは持ち帰りました。

村田さんが打ったそばを試食し、大人も子どもも笑顔あふれました。

教室になりました。

大人も子どもも笑顔あふれました。

教室になりました。

大人も子どもも笑顔あふれました。